Records of Magpie *Pica pica* in Iburi District,
South-western Hokkaido

Tomihiro Horimoto*

Abstract. One to five Magpies were observed in 1984, and almost every year from 1992, in Muroran, Noboribetsu, Shiraoi and Tomakomai, Iburi District, south-western Hokkaido. They nested in 1993 and 1994 in Muroran, in 1998 and 2000 in Noboribetsu, and in 1996 and 1998 in Shiraoi. In Wanishi, Muroran, two young with an adult were observed in the summer of 1993, strongly suggesting that they bred there. Based on these observation records, the Magpie is considered to be resident in this area.

Key words: Hokkaido, Iburi District, Magpie *Pica pica*, Resident.

観察者: 本多進)。
4. 1992 年 10 月 8 日。室蘭市輪西 (d) の住宅街で 1 羽が餌を採っていた（ハヤブサ 49 号、観察者: 沢田宏子)。
5. 1992 年 10 月 21 日。輪西 (d) の住宅街で 1 羽（ハヤブサ 49 号、観察者: 新聞記者)。
6. 1993 年 1 月。室蘭市仲町 (e) 新日鉄構内で営巣開始（「営巣」には造巣から果立ちまでの段階があるが、観察者がどの段階を観察したのか確認できないため、支部報に記載された文をそのまま引用した。以下同様）。（ハヤブサ 50 号、観察者: 本多進)
7. 1993 年 4 月。新日鉄構内 (e) で営巣を継続中（ハヤブサ 51 号、観察者: 本多進)。
8. 1993 年 7 月 22 日。輪西 (d) で 3 羽目撃。繁殖した可能性あり（ハヤブサ 52 号、観察者: 本多進)。
9. 1993 年夏。輪西 (d) で 2 羽の子連れを確認（ハヤブサ 55 号、観察者: 本多進)。
10. 1993 年 10 月 20 日。地球岬 (c) で 1 羽を観察（ハヤブサ 53 号、観察者: 本多進)。
11. 1994 年 1 月 2 日。輪西 (d) で 1 羽を確認（ハヤブサ 54 号、観察者: 本多進)。
12. 1994 年 3～4 月。新日鉄構内 (e) で営巣（ハヤブサ 55 号、観察者: 本多進)。
13. 1994 年 7 月 1 日。輪西 (d) の野球場付近で 7 羽を確認（ハヤブサ 56 号、観察者: 工藤幸子)。
14. 1994 年 8 月末。新日鉄構内 (e) で 3 羽を確認。4～5 羽の観察例もあった（ハヤブサ 57 号、観察者: 三浦幸夫)。
15. 1994 年 10 月 25 日。白老町で 3 羽を観察（ハヤブサ 57 号、観察者: 伴野俊夫)。
16. 1995 年 2 月中旬。白老町で 2 羽を観察（ハヤブサ 58 号、観察者: 小林)。
17. 1995 年 3 月 13 日。輪西 (d) で 1 羽を観察（ハヤブサ 58 号、観察者: 本多進)。
18. 1995年4月19日。輪西 (d) で観察（個体数の記録なし、ハヤブサ59号、観察者：本多 進）。
19. 1995年4月25日。室蘭市測量山 (b) で観察（個体数の記録なし、ハヤブサ59号、観察者：本多 進）。
20. 1996年2月28日。白老町で観察（個体数の記録なし、ハヤブサ62号、観察者：内藤博史）。
21. 1996年5月7日。白老町で営巣を確認（ハヤブサ63号、観察者：川端篤志）。
22. 1998年2月25日。白老町北吉原 (n)、線路沿いの林で2羽を確認。営巣中の可能性あり（ハヤブサ70号、観察者：川端篤志）。
23. 1998年4月初め。室蘭市内で観察（個体数の記録なし、ハヤブサ71号、観察者：平井希代子）。
24. 1998年4月8日。白老町北吉原 (n)、線路沿いの林で営巣を確認（ハヤブサ71号、観察者：本多 進）。
25. 1998年4月21日。地球岬 (c) で1羽を観察（ハヤブサ71号、観察者：本多 進）。
26. 1998年5月11日。登別市幸町3丁目 (m)、国道沿いの林で営巣を確認（ハヤブサ71号、観察者：西田昌子）。
27. 1998年6月14日。白老町北吉原 (n)、線路沿いの林で営巣を確認（ハヤブサ72号、観察者：本多 進、沢田わか子）。
28. 1998年6月14日。登別市幸町3丁目 (m)、国道沿いの林で営巣中のつがいを確認（ハヤブサ72号、観察者：本多 進、沢田わか子）。
29. 1998年7月5日。登別市幸町3丁目 (m)、国道沿いで1羽が交通事故死（この個体は日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンターに運ばれた。しかし、確認したところ、2004年6月現在その個体は保存されていない。）（ハヤブサ72号、観察者：伴野俊夫）。
30. 1998年9月2日。苫小牧市高速道苫小牧西インターチェンジ入口 (p) で観察（個体数の記録なし。観察者：本多 進）。
31. 1998年9月7日。登別市栄町 (i) で2羽を観察（観察者：本多 進）。
32. 1998年9月25日。室蘭市寿町 (f) で1羽を観察（観察者：堀本富宏）。
33. 1998年12月31日。登別市常盤町 (j) で3羽を観察（観察者：堀本富宏）。
34. 2000年2月。登別市若草町2丁目 (h) の送電線鉄塔上で造巣を確認。この巣は9月まで待って、その後撤去された（北海道電力の記録による。）
35. 2002年12月。輪西 (d) で観察（個体数の記録なし。ハヤブサ90号、観察者：本多 進）。
36. 2002年12月13日。登別市千歳町 (k) で1羽を観察（観察者：堀本富宏）。
37. 2003年1月。輪西 (d) で2羽を観察（ハヤブサ90号、観察者：本多 進）。
38. 2003年3月19日。室蘭市測量山 (b) で1羽を観察（ハヤブサ91号、観察者：本多 進）。
39. 2003年4月。地球岬 (c) で1～5羽を観察（ハヤブサ91号、観察者：村上トミ子、本多 進）。
40. 2003年11月8日。登別市幌別町8丁目 (l) の橋欄干上にいる1羽を観察（観察者：堀本富宏、本多 進）。
41. 2004年1月24日。白老町萩野 (o) で電線に止まっている個体を観察（個体数の記録なし。）
観察者：成田脩三）。
42. 2004 年 2 月 9 日。室蘭市だんぱるスキー場 (g) で飛翔中の 1 羽を観察（観察者：三浦明子）。
43. 2004 年 3 月。2003 年 9 月から 2004 年 3 月現在まで、輪西 (d) の野球場近くの家の庭に 2
羽が継続して飛来し、イヌの餌を食べる（観察者：井上都美子）。

現在までの室蘭市とその周辺部における観察記録は以下の 43 例である。このうち、「喢巢」
と記述された例があるが、観察者は明らかに大きな喢とその近くにカササギを観察したために
喢巢していると判断したとおもわれ、喢巢のどの段階かは不明である。確実に繁殖したとおも
われるのは例 9 だけである。以上のように、胆振地方ではカササギが苦小牧における記録（検
口 2003）も含め、10 年近くにわたって記録され、繁殖も確認されおり、定着し、留鳥となって
いるようである。しかし、この間に個体数が増加している兆候はみられていない。なお、胆振
地方に生息しているカササギの由来については今のところ不明である。

最後に、観察記録を提供していただいた成田脩三、本多 進、三浦明子、井上都美子の各氏,
またこの報告をまとめるにあたって助言をいただいた藤巻裕蔵帯広畜産大学名誉教授にお礼申
し上げる。

引用文献

藤巻裕蔵 2000. 北海道鳥類目録 改訂第 2 版。帯広畜産大学野生動物管理学教室、帯広。
検口孝雄 2003. 野鳥情報と新聞報道—カササギを例としてー。北海道野鳥だより 134: 8-9。
北海道野鳥愛護会広報部 2003. 江別市にもカササギ。北海道野鳥だより 134: 10。
井上公雄 1990. 話題の鳥たち (2)。北海道野鳥だより 82: 7-8。
日本鳥類目録編集委員会 2000. 日本鳥類目録 改訂第 6 版。日本鳥学会、帯広。